

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		橋りょう維持管理事業		担当課	道路管理課	担当係	橋りょう維持係	管理番号	4135	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	道路法 道路橋定期点検要領 深谷市橋梁長寿命化修繕計画					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市が管理する道路橋を適切に維持管理するため、法令に基づく定期点検を行うとともに、長寿命化に向けた調査、設計及び修繕等を行うものである。								
目的 ※何のために		橋梁の損傷を早期に発見・対応することで、市民の生活や一般交通に支障を及ぼさないよう維持管理するため。								
対象 ※誰・何を対象に		市が管理する橋長2m以上の橋								
手段 ※どのように		定期点検、調査、設計及び修繕等を行う。								
成果 ※何を求めるか		橋梁の状況を確認するとともに長寿命化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	橋りょう維持管理事業	292,619,384
本事業の 主な業務		・橋りょう維持修繕工事					・			
		・橋りょうの緊急修繕					・			
		・橋りょう管理台帳					・			
		・災害時の復旧対応					・			
		・橋りょうパトロール					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		橋梁補修工事	橋梁点検業務 橋梁補修・耐震補強設計業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修設計業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修設計業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修・耐震補強工事	
事業費	予算（現額）	310, 803, 000	382, 112, 000	374, 327, 000	266, 053, 000	321, 144, 000	178, 332, 000	
	決算額	272, 906, 993	294, 132, 820	263, 284, 253	213, 242, 125	292, 619, 384	0	
	財源内訳	国支出金	105, 140, 000	134, 414, 000	125, 393, 000	90, 434, 000	107, 558, 000	49, 459, 000
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	49, 800, 000	89, 100, 000	148, 800, 000	56, 100, 000
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	167, 766, 993	159, 718, 820	88, 091, 253	33, 708, 125	36, 261, 384	72, 773, 000
人件費	従事職員数（人）	1. 95	2. 45	1. 95	2. 40	2. 00	2. 00	
	人件費相当試算※	15, 169, 050	19, 065, 900	15, 804, 750	19, 526, 400	15, 523, 830	16, 262, 696	
総事業費試算		288, 076, 043	313, 198, 720	279, 089, 003	232, 768, 525	308, 143, 214	194, 594, 696	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	定期点検を行った橋梁	目標値	橋	173	112	180	175	174	174
		実績値		201	132	181	174	171	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		長寿命化修繕計画（5年に1回）に基づき設定している。 / 定期点検数						
	実績値の算出式		2 0 1	1 3 2	1 8 1	1 7 4	1 7 1		
活動指標 2	補修・耐震補強を行った橋梁	目標値	橋	17	21	3	4	3	2
		実績値		15	20	2	2	3	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		長寿命化修繕計画及び定期点検結果に基づき設定している。 / 補修・耐震補強数						
	実績値の算出式		1 5	2 0	2	2	3		
成果指標 1	定期点検率	目標値	%	78.72	100	22.64	44.65	66.54	88.43
		実績値		84.53	100	22.77	44.65	66.16	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		長寿命化修繕計画及び定期点検結果に基づき設定している。 / 点検数（累計）／橋梁数×100						
	実績値の算出式		672／795	795／795	181／795	355／795	526／795		
成果指標 2	橋梁補修率	目標値	%	100	100	100	100	100	100
		実績値		88.23	95.24	66.67	50	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		長寿命化修繕計画及び定期点検結果に基づき設定している。 / 実施数／計画数×100						
	実績値の算出式		15／17	20／21	2／3	2／4	3／3		
成果指標 3	維持管理上の事故件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0
		実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		管理上の事故は、常に発生しないようにしている。 / 申請された件数						
	実績値の算出式		0	0	0	0	0		
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	橋梁の定期点検については、点検対象橋梁の工事の遅れ等により予定数の点検ができなかったが、おおむね目標値を達成することができた。また、補修・耐震補強工事については、目標値である3橋の工事を実施（契約）することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	橋梁補修率及び維持管理上の事故件数については目標値を達成することができた。橋梁の定期点検率については、工事の影響により一部点検ができなかったため目標値には達しなかったが、計画的に点検を行い維持管理できている。
			評価者 橋りょう維持係長 福地 孝明

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	橋梁の定期点検については、道路橋定期点検要領に基づき、5年に1回の頻度で点検を行っている。また、効率的に橋梁を維持していくため、橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、予防保全型による修繕を行うことができた。
			評価者 橋りょう維持係長 福地 孝明

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	今後、橋梁の修繕・架け替えに対する費用の増大が予想されるため、深谷市橋梁長寿命化修繕計画に基づく予防保全型の維持管理を行うことにより、橋梁の寿命を延命するとともに、修繕等に要するコストの縮減を図る。また、補助金の活用など財源の確保に努める。
達成状況及び その効果	橋梁の修繕については、深谷市長寿命化修繕計画や点検結果に基づき計画的に進めており、財源についても、個別補助である道路メンテナンス事業補助を活用して、点検、設計及び工事を実施することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	橋りょう維持管理事業	担当課	道路管理課	担当係	橋りょう維持係	管理番号	4135
<div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>定期点検については法令に基づき計画的に実施していくほか、橋梁の修繕については、予防保全のための修繕工事と併せて、重要路線にある橋梁については、予算の確保に努めて耐震補強を重点的に実施していく必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 道路管理課長 宮下 昌規					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	次年度の補助金確保に向けて国県へ強く要望するほか、定期点検等については、効果的・効率的な新技術等の活用を検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和5年度に予定している橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行う際には、新技術等の活用や集約・撤去などの短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果を記載し、道路メンテナンス事業補助制度において優先的な支援を受けられるようにする。また、橋梁の維持管理費の縮減を図るため、集約・撤去や新技術等の活用を検討する。

8. 評価指標グラフ

